

きらり

私たちは「きらり」と輝くんや

平成21年5月14日(木) 山根

さあ！「中間テスト」だ

皆さんは、新しい学年になり、心新たに「今年こそは、頑張るぞ！」と決意し、頑張っているところだと思います。

授業は、毎日「真面目」に受け、「復習」をきちんとし、「自分の頭でしっかり考え」理解していることと思います。

そこで、その結果を確認する「中間テスト」が今月末(5月28日～29日)に実施されます。

それに向け、今、計画的に「テスト勉強」を行っているところだと思います。

折角、頑張ったのに、当日のちょっとしたミスで失敗しては悲しいです。

そこで、テストの当日について考えてみたいと思います。

まず、心を静めてテストが配られるのを待つところから始まります。

記名はきちんと書こう

「学年、組、出席番号、名前」を慌てず、丁寧に、特に「名前」は皆さんのご両親の願いが込められて、意味ある素晴らしい名前です。きちんと力を込め書きましょう。

採点者が読みやすい答案を書こう

中学生になれば、他人の立場がわかるようになっていわれています(少し大人に近いのです)。自分しかわからない「字」、つまり、採点する人が理解できない字は書かないようにしたいものです。

問題を解く順番を考えて

優しいところから難しいところへ挑戦していきましょう。

こんなこともあります。高校の入学試験で、最初の国語の試験を問からはじめたのですが、難問だったため、「どうしても解けない、困ったな、どうしよう」目の前が真っ暗になり、焦り、次のやさしい問いも解くことが出来ず国語の試験は終わってしまった。

その後、イライラして、社会、数学、理科、英語もうまくいかず、結局、日頃の実力が発揮されなかった。テストによっては、やさしい順番になっていないこともあります。全体をよくみて、順番を間違えないようにしましょう。

解答形式を間違えないように

「記号で答えよ」を「言葉」で書いてしまうと、本当に悲しいです。

細かいところまで、注意が必要

数学では、+ (プラス) - (マイナス) の符号を間違えないこと。

また、英語では、文の初めは大文字で書く、文末には「ピリオド」をつけること等を忘れないように。ちょっとしたミスをケアレスミス (Careless mistake) といいます。

意味は「注意していれば防げたはずの間違い」ということです。

「頑張れ 坂中生！」



3年生修学旅行 守礼門

